
六定魔術

新羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

六定魔術

【Nコード】

N8267X

【作者名】

新羅

【あらすじ】

太古の昔…神の怒りにふれた者が居た

太古の昔…魔神は祈った

太古の昔…竜は咆哮した

空白の時間…封じる者が居た

そして現在…新たな争いが生まれるのか!?

それを知る歴史の波の人物と生物

— 限りある時間を、あなたはどうか過ごしていますか? —

賢者

デイルバ王国：かつて栄えていた王国

しかし2000年前滅ぼされた

その王国：魔術に溢れていたが

それが神の怒りにふれた

—空白の500年—

西暦X294年

ここにデスク・マーシャルという名の魔術師が住んでいる

彼は強力な魔術師だが過去になにがあったのか調べてもいる

空白の500年について：

「今日の仕事は終わりかな…」

普段は古文の解読などの仕事をしているが

魔術関係の仕事もたまにしている

例えば魔物の討伐

休みさえあればやっているそうだが

彼の実力を知る者はそう居ない

「デスク仕事は終わったの？」

彼はフィン・トクラ同じく魔術師

過去について興味があるためデスクとは意気投合している

暇な時にデスクの家に来て集めた情報を交換する

「終わりましたよ：今日は少ない量でよかった」

「終わったなら何より」

「で、今日はどんな情報を…?」

「興味深いものだよ…空白の時の神殿を見つけたんだ」

「ほう…何故見つけられたんですか?」

「偶々仕事の帰り道…」

空白の時の神殿は発見されて無く

政府からは無いと断言されているものだ

「私は神殿に強力な結界があると思ってましたが…」

「いや、あった」

「ならどうして…!」

「僕が近づいた時に消えたんだ…まるで導く様に」

古代の本で一つだけ発見されているものがある

それが 六定式 内容などを見ると

全く空白に関係していないことが書いてあるような感じがする
だが、その本は封印されており開くのに二年かかったという
その本は解読のため今デスクのもとにある

棚に並べられた一冊の本だ

内容は…

この国滅びて魔が落ちる

神の吐息で臭きは枯れゆき

竜の火炎で死においやられる

我ら六定の賢者なり

石の封印解かれる時

我らの封印解かれるだろう

神の封印解かれるだろう

秘密の印暴かれん時

対なす光の魔術

解放たれん事

六の聖域と六の城

神と賢者は繋がる

六の勇者現れし時

定宝石の導きで

この本と神殿によって歴史はまた動き出す

さらに：こことは違う二カ所で

「歴史に名を残した魔神なる男：エディリオン」

竜の咆哮は大地を轟かす

「2000年の歳月：長すぎたよ：でも、もうすぐ何だ」
魔神の願いは大地を潤す

神の居城

「ここが…」

「そう…ここが神殿だ」

「で、ディスクは読める？これ」

そこにあつたのは石碑

何千年も前のだからボロボロだ

「古い字ですね…」

「読める？」

「このしんでん…みちをしめ…す　たいこの…せかいのしんじつ…
……ここ…へふう…ず…る」

「なもな……きおう…ろくの……じん……ぎをかくせんと……か…
みのきよ…じょうで」

「その先は？」

「文字が消えかかっている…」

「わかった」

この神殿、道を示す　太古の世界の真実ここへ封ずる

名も無き王、六の神器を隠せんと 神の居城で

一体どういう意味だろう…

「入るよ」

「はい…」

その後しばらく歩いたが変な物を見つけた

奇と書かれた石 何だろう…

「デスク！」

「何です？」

「これ見て」

そこにあるのは二階への階段…ではなく

謎の文章の書かれた石碑とカゴ

―お それるな ーる りいろのかいぶつ ーふえ んりるのわなを

―うす くなつた毛はきいろにそまる ーのう をつかえ

―では まいろう ーお それるものはさがれ

―か られるのだ ーか いぶつに ーげ ろうはさがれ

一ろ　くにちえもないものは

以上だ

カゴの中には腕輪があるだけ

…すると突然石碑が消え

二階に進める様になった

「進むよ…」

「わかってます」

二階に進むと影がある

「グオオオオオオ…」

長い間封じられていたのだろう

瑠璃色の獣…フェンリル!!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8267x/>

六定魔術

2011年10月30日22時20分発行